

アイダホ州：小麦作柄と気象状

2005年5月17日

2005年5月15日現在

5月15日に終わる1週間の平均気温は、N地区を除き多少平年より低目であった。N地区の平均気温は平年を1~4度F上回った。Lewistonでは最高気温が80度Fとなった。降雨は全州に有り、N地区の1週間の降水量は0.46~1.53インチ、SW地区では0.48~1.11インチであった。州平均の1週間の農作業稼働日数は1.8日(前週:4.2日)であった。Topsoilの水分は“適”が減少し“過多”が増加した。灌漑用水の状態は改善した。

冬小麦の54%が節間伸長期に入った。春小麦の播種は全州の88%にて播種は完了し、73%にて出芽した。冬及び春小麦ともに生育は順調であるが、多雨の為に一部の冬小麦に黄さび病(Strip rust)、うどんこ病(Mildew)が発生していると報告された。

Topsoil 土壌水分：2005年5月15日現在

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This Week (%)	0	3	63	34
Last Week (%)	0	6	73	21

小麦進捗状況：2005年5月15日現在(春小麦)

Crop year	North			Southwest			South Cent.			Sate		
	05	04	Ave	05	04	Ave	05	04	Ave	05	04	Ave
Planted %	98	100	88	100	100	100	100	100	100	88	99	94
Emerged %	84	87	55	100	100	100	96	99	98	73	80	76

vg. means 5-year 2000-2004 crop average. 05 means 2005, 04 means 2004 crop.

冬小麦の生育状況：2005年5月15日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-Yr. Average
Headed (%)	0	0	0	0

冬小麦の作柄状況：2005年5月15日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week (%)	0	1	4	73	22
Last week (%)	0	0	4	75	21

灌漑用水状況：2005年5月15日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week (%)	6	24	34	36	0

Source: Idaho Agricultural Statistics Service

当該作柄・気象レポートに付いてのご質問は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃 : <mailto:ogawa.max@omicnet.com>